

雑木林ファンクラブ通信

住所:〒 247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

孟宗竹切りまくり

私の所属するもう一つの里山ボランティア団体に栄区役所から3年前に協力依頼があった。区の緑地保全策の一環として山林保存を約束する民間地主に区役所がお手伝いをする新しい試みである。それが公田にある竹林整備であり、この会にお鉢が回ってきた。

依頼先は8700平米もある楕円形の丘陵地にある孟宗竹林。

本格的な竹伐採は始めてなので、整備活動前に竹林整備のプロから「竹の生態と管理」について講義を受け、この孟宗竹が繁茂する民有竹林の伐採に取りかかった。蜂被害も考慮の上、1-6月を竹林整備期間とし、月1回ペースの活動回数とした。「いたち川」沿いの丘陵地にあるこの竹林は傾斜が強く伐採には危険なところも多い。斜面で伐採処理したものを丘陵の中腹に積み上げたり、下まで運び下ろすものもあり非常に効率が悪い。また伐採より枝払いの労力が大変で、近傍には住宅が隣接しているためチップー使用が出来ず、処理した竹と枝はまとめて積み上げるしかない。始めは枝払いに棍棒使っていたが効率悪く(腕力不足も有り)、今年になって、区役所に針金が切れるような頑丈な剪定ハサミを装備してもらった。現在の整備状況は竹林の上の方からすっきりした形になってきたが、伐採した面積は半分にも達しておらず、処理場所は作業し易く比較的傾斜が緩やかな所にとどまっている感じである。そして今月の活動で秋まで小休止となる。

今までの活動を省みると、活動人数が少ないこともあり、“えらい民有竹林を引き受けたな”が私の率直な感想である。(野庭の丘陵地にある大規模な民間マンション住人で最近、管理役員をしていた友人から2年にわたる竹林整備の費用を知って驚いた。伐採ボランティアを住人に募ったがシニアが多く断念。伐採したもの持ち運び込みで500本の竹伐採で500万円も園芸業者に支払ったとか。各戸あたり1万円負担になる。このような高額な伐採費用がかかるようでは民有竹林オーナーの苦悩も理解できる。)

長く続く竹伐採活動の中で今年4月にオーナー主催で「筍を楽しむ会」があった。区長、区役所職員も交え、“五右衛門風呂”のような特大の大鍋も登場して色んな筍料理を作り、喜んで参加した孫達とともに味わった。

いったん引き受けたからには、“番傘差して歩ける棹同志の間隔”までは望まないが、それなりの整備が出来上がるまで貫徹しようとのコンセンサスは出来上がっているので頑張るしかない。

団塊世代の定年退職時代、人生に彩りをつける里山ボランティアの魅力をもっとアピールして会員を増やし、地元社会に貢献するエリアを広げて行きたい。

<http://www.segami-museum.net/group/sato-image/kojukei-58.pdf>

竹内義裕



1. 5～6月の活動報告

- ① 5月23日(金) 晴 22人: 日清オイリオ支援・さくら林下草刈り、クヌギ林下草刈り、炭小屋周辺整理
- ② 5月30日(土) 雨のち曇 8人: 製材、ベンチ製作
- ③ 6月6日(土) 雨 7人: 工具整備、木工
- ④ 6月13日(土) 晴 25人: ホダ木本伏、池ノ上下草刈り、ベンチ塗装(4台センターへ搬入)、竹材搬入
- ⑤ 6月20日(土) 晴 23人: 竹林整備、駐車場等草刈り、未炭材詰め(21日再焼)、運営会、希少植物勉強会<講師: 野草PJ>
- ⑥ 6月21日(日) 雨 6人: 炭焼き(竹未炭材)
- ⑦ 各水曜日に準活動日として木工作业を実施



クヌギ林の下草刈りで発見! コジュケイらしい。地面にベタッと置いてある巢で、ヘビに食べられないのかしら?



”ノギクの広場”奥の竹林皆伐を目指し、ひたすら倒す、今日の成果は約500本?



前回の炭焼き(4月18・19日)での未炭材。もう一回焼いてみましたが(6月21日)、さて?



野草PJ篠原さん講師によるクヌギ林の希少植物の勉強会(6月20日)。我々にはとても見つけれそうもない植物を丹念に調査されていらっしゃる。下草刈り前にマーキング要請を切に感じた

2. 6月度運営会の報告 (6月20日午後)

- ① 7月の作業打ち合わせ: 3項を参照
- ② キャンドルナイトinさかえ作品等打ち合わせ
 - ・7月18日(土) 19時より(準備15時より) 催行
 - ・丸太材を使用したスタンドを中心に配置し、その足上や周囲に竹製灯籠(約50個)を配置
 - ・担当: スタンド: 片岡 灯籠: 鈴木
 - ・7月4日スタンド仮組で部品作成を進める<ネット版には、スタンド図面およびイラスト掲載>
<http://zfc.yamagomori.com/candlenight09.html>
- ③ 8月1日(土) 午後: 横浜さかえ高校ボランティア体験(20名程度) 支援
<サクラ林、セイタカアワダチソウ抜きおよび下草刈り>
- ④ 8月15日(土) 午後暑気払い

- ⑤ 8月16日(日)「森を守るボランティア体験」の担当日
 - ・担当者:石黒・山田・赤羽・工藤ほか
 - ・体験作業:下草刈り(場所は後日決定)
- ⑥ 作業中の健康・安全管理ならびに緊急時の連絡体制
 - ・活動中の休憩(グループ活動中のまとめ役は30~45分毎の休憩を取る)
 - ・水分補給用水筒・ペットボトルの持参に各自努める
 - ・事故等の緊急時には、速やかに以下に連絡を取ること(携帯をお持ちの方は登録を)
自然観察センター:045-894-7474
関根:090-9230-0000・武田:090-3594-1883

3. ~7月度活動予定

- ① 6月27日(土) トウネズ除伐、製材、ベンチ作成、キャンドルナイト用部品製作、炭材詰め(本釜)、本釜煙突清掃、苗採集(クヌギ林から、クヌギ・コナラ・サクラの実生採集)
- ② 7月4日(土) クヌギ林下草刈り、トウネズ除伐、製材(午前)、キャンドルナイト用部品製作(スタンド仮組)、ドラム缶窯炭出し、煙突清掃
- ③ 7月11日(土) 炭焼き(本釜)〈担当:鬼塚・鈴木・村松・江崎ほか〉、クヌギ林下草刈り、竹林整備、キャンドルナイト用部品製作
- ④ 7月12日(日) 炭焼き(本釜)
- ⑤ 7月18日(土) クヌギ林下草刈り、トウネズ除伐、キャンドルナイトスタンド本組(15時より現地準備)、運営会(午後)
- ⑥ 7月25日(土) クヌギ林下草刈り、竹林整備、ベンチ作成
- ⑦ 毎水曜日:準活動日とする

4. その他

- ① 友の会「腕章」が足りません! ご自宅にないか確認ください。
- ② 雑木林ファンクラブ通信が、インターネットでも見られるようになりました。
<http://zfc.yamagomori.com/index.html>
紙資源節約と郵送料削減およびCO₂削減のため、ネットでご覧いただける方は積極的にご利用ください。

5. 編集後記

- ・今回の巻頭コラムは、他ボランティア集団でも活躍されている竹内さんに寄稿いただきました。しかし、竹の伐採を業者に依頼すると、とっても高額なんですわねえ! びっくりしました。観察の森から、竹林を追い出すには竹内さんの知識・ノウハウは欠かせないものになりそうです、よろしくご指導ください。
- ・5月20日、例年ご協力いただいている日清オイリオさんの有志20名の方がお出でになった。サクラ林のセイタカアワダチソウの引き抜きと下草刈りの労力をを提供いただいた上に、豆乳までをいただいた。本来ならこちらからお礼をするべきところ何も差し上げられず恐縮。来年は何か考えないといけな。
- ・6月20日に、野草PJの協力をいただいて、クヌギ林の希少植物の勉強会を実施しました。私なぞには、とても見つけることが出来そうもない種を、流石にキチンと確認されていて驚いてしまいました。相変わらず白樺とシロダモが良く分からない私は、何とか1/10位のレベルにはなりたいたいづくづく思うのでした…。
- ・4月18日の竹材炭焼きのデータを添付しました(ネット版のみ)。

以上

神奈川県ボランティア活動事故共済保険、の事で、分らない点が、沢山有るように、思われますので、ある程度理解を、していただく、ためにも（かえって、混乱するかも？）書いてみました、

観察の森友の会会員に、なりますと、会員（会費払込用紙にチェックを入れる）に基本プラン一年間6000円の保険に加入します、

期間は平成21年4月1日午前0時から平成22年3月31日午後12時まで、です、

注意 入会が遅れますと、その間無保険状態に、なりますので、申し込み締切日は、必ず守って、下さい。

他のボランティア団体にも所属して、同一の保険には重複加入は、出来ません（総てのボランティア活動が補償の対象です）一人で勝手に行うボランティア活動は含みません。

最近のボランティアの考えとして、移動に伴う交通費、昼食代、活動の、ための原材料費の支給は無償ボランティアになります。

始めに、この保険は治療費、薬代等の費用は含みません。

補償については、自宅の門（マンション、アパートの場合はドア）を出た時から、活動場所（全国有効）との往復の事故も対象です（但し通常の経路であることが条件です）

傷害事故によるケガとは（急激）（偶然）（外来）の事故によるケガをいいます

事故が発生した場合、速やかに医療機関で治療を受けて下さい、日数が空きますと通常の事故以上の負担がかかる場合があります、物損事故の場合は、壊された物の写真を添付します、事故報告を青少年協会に30日以内に提出して下さい（報告用紙は神奈川県青少年協会ホームページからも入手できます）

死亡保険金 3,007万円

後遺障害保険金 3,007万円（限度額）

入院保険金 7,000円（1日につき）

通院保険金 4,500円（1日につき）

手術保険金 28万円（限度額）

賠償責任保険金 5億円（限度額）重要文化財などは含みません

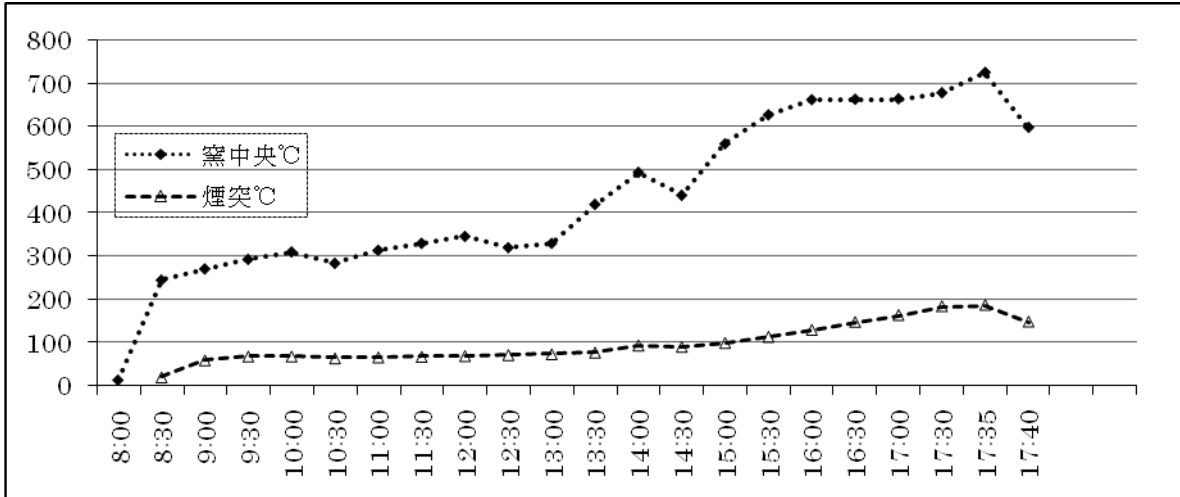
見舞金 50万円（限度額）傷害。賠償責任保険の対象にならず特に青少年

協会が認定した場合

最後に、この保険を使わず元気な笑顔でボランティア活動が出来る事を願っています。

2009年度第1回炭焼き記録(2009年4月18日)

- 1) 窯 詰 め 日時/天候 : 本窯: 2009年3月7日(土) ドラム缶窯: 3月28日(土)
 2) 火入れ/窯閉じ 日時/天候 : 4月18日(土) 晴
 気温 : 13℃ (18日8:00)
 3) 窯 出 し 日時/天候 : 本窯: 09年5月2日(土) ドラム缶窯: 5月9日(土)
 ● 本 窯 * 炭材 竹材 258kg * 出炭量: 未炭多し(カウントせず)
 * 収炭率: - % * 竹酢液: 36 ℓ



- ペース配分 ・口焼き 4時間30分 ・安定熱分解 ?時間
 ・精錬 10分 ・合計 9時間40分

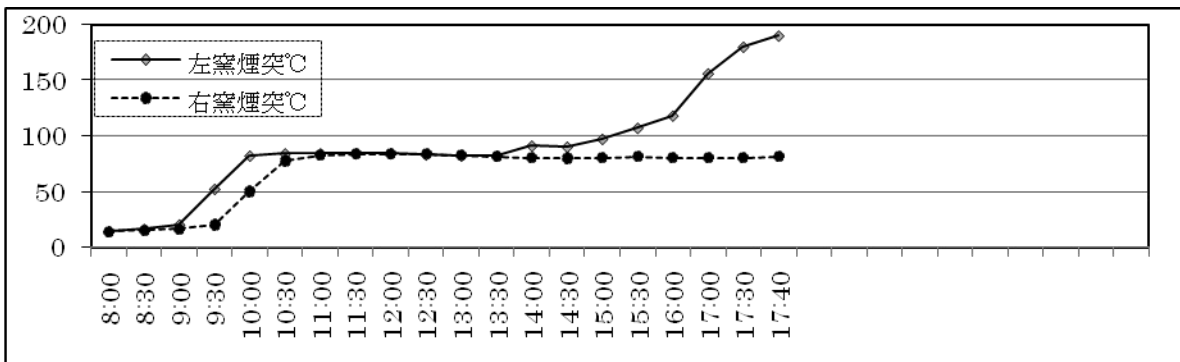
最高温度(精錬前/後)・煙突 164°C/187°C ・窯中央部 664°C/725°C

注: ① 上部のみ炭化 中央部・下部は未炭

窯中央温度が上昇するも、煙突温度があがらず。ファンによる送風を 16:30 まで実施。

② 時間制限により、ねらしを 17:30 より実施し、17:40 に終了とした。

- ドラム缶窯 <左窯> <右窯>
 * 炭材/重量 : 竹材 77 kg 竹材 42.5 kg
 * 出炭量(率) : 12 kg (16%) 13 kg (軟・硬炭) +14 kg (未炭分)
 * 収炭率 : 竹酢液 4.2 ℓ 竹酢液 4 ℓ



○火入れ開始 4月18日 08:00 ○窯閉じ完了 左窯 17:40 右窯 17:40

- ペース配分 ・口焼き 左窯 1時間45分 右窯 3時間15分
 ・精錬 実施せず ・合計 左窯 9時間40分 右窯 9時間40分

○最高温度(終了時) ・左窯 190°C ・右窯 82°C (火が着かずに消えたか?)

注①左右窯(1, 2号窯)共に時間切れ終了。1号窯は再口焼きをするべきであった。

*本窯もドラム缶窯も竹材をびっしり詰めた(258kg 77kg)ので、時間がかかる条件になっていた。
 今回入れ忘れたが、窯内の手前側と上部には燃えやすい燃料材を入れて、火付を良くすること。

以上